

統計研究会議（第1回） 議事概要

1 日 時 令和7年5月26日（月） 16:30～18:30

2 場 所 総務省第2庁舎6階 特別会議室

3 出席者

滋賀大学データサイエンス・AI イノベーション 研究推進センター特任教授	會田 雅人
明治大学政治経済学部教授	加藤 久和
早稲田大学政治経済学術院教授	西郷 浩
法政大学経済学部教授	菅 幹雄
情報・システム研究機構データサイエンス 共同利用基盤施設副施設長	椿 広計
千葉大学客員教授	鈴木 督久
立正大学データサイエンス学部教授	高部 勲
総務省デジタル統括アドバイザー	細川 努
大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所教授	南 和宏
大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所長	山下 智志
みずほリサーチ&テクノロジーズ（株） 調査部プリンシパル	小野 亮

岩佐統計局長、小松総務課長、植松政策統括官（統計制度担当）審査官、田村統計委員会担当室次長、栗田統計研究研修所長、永井統計研究研修所研究部長、田中(独)統計センター統計技術提供部長 ほか

4 議 題

- (1) 統計研究会議について
- (2) 研究プロジェクトについて
- (3) 講演
- (4) 各研究プロジェクトの報告
- (5) その他

5 議事概要

(1) 統計研究会議及び (2) 研究プロジェクトについて、事務局より説明した。

(3) 講演

講師：みずほリサーチ&テクノロジーズ調査部プリンシパル 小野 亮 氏

テーマ：米政府系データベースのご紹介

小野講師より、アメリカ政府系のデータベースを紹介された後、意見交換を行った。

(4) 各研究プロジェクト報告

各プロジェクトの担当から、それぞれの研究内容を報告された後、意見交換を行った。

- 「宿泊旅行統計調査」と「経済センサスー活動調査」の統計的マッチング」
- 「事業所母集団データベースによる年次フレームを活用した中間年経済構造統計の拡張の研究」
- 統計委員会担当室における今後の研究計画
- 調査票情報のリモートアクセス
- 統計データの利用高度化プロジェクト（案）
- ビッグデータの利活用に関する研究協議会の開催について（案）
- 新技術に係る取組状況

会議の終わりに、椿客員統括教授より、「各プロジェクトの研究状況など、この様な形で外部にも見える化されることは非常に重要だと考える。」との発言があった。

以上